

製品名: アルゴノート 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85304**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200, IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 97 kDa; Observed MW: 97 kDa

抗原情報

遺伝子名	Argonaute 2
別名	Ago 2; Argonaute 2; dAgo2; eIF2C 2; hAgo2; PPD
遺伝子 ID	27161.0
SwissProt ID	Q9UKV8
免疫原	ヒトアルゴノート 2 の合成ペプチド

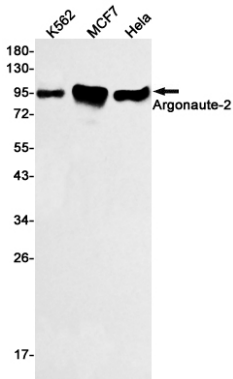
背景

RNA 誘導サイレンシング複合体 (RISC) による RNA 介在遺伝子サイレンシング (RNAi) に必須です。また、特定の成長条件下で

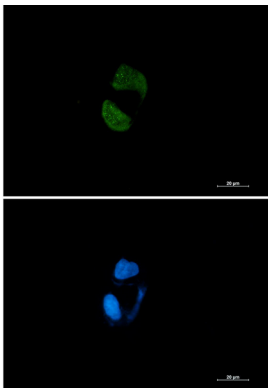
は、特定の mRNA の翻訳をアップレギュレーションすることもできます。TNF (TNF- α) mRNA の 3'-UTR の AU エlement に結合し、血清飢餓条件下で翻訳をアップレギュレーションします。さらに、転写遺伝子サイレンシング (TGS) にも必須です。TGS では、アンチジーン RNA または agRNA と呼ばれる短い RNA が、相補的なプロモーター領域の転写抑制を誘導します。

研究分野

画像データ



Argonaute2 抗体を使用した K562、MCF-7、Hela 溶解物中の Argonaute2 のウエスタンブロット分析。



Argonaute 2 抗体と DAPI (青) を使用した HCT116 の Argonaute 2 (緑) の免疫細胞化学分析。